



(データセンター完成予想図：大谷昭夫氏提供)

緑と清流のまち 日野に 巨大データセンターが 建つの？

DCC データセンター検討会

目次

表紙 データセンター完成予想図
 緑と清流のまち 日野に巨大データセンターが建つの？

2. 目次

- 3. はじめに - 私たちの想い
 - 市民の声を元にできた日野市環境基本条例の制定から30年データセンター建設について考えます
- 4. そもそもデータセンターって何？
 - データセンターの役割とその影響を解説します
- 5-6. 日野にできる巨大データセンター計画の全貌
 - 日野自動車跡地に建設予定のデータセンターの詳細と周辺環境への影響を探ります
- 7-12. 私たちの生活はどう変わる？
 - データセンター建設による生活環境の変化について考察します
- 13. 未来への対案 - 私たちが求める解決策
 - データセンターと住宅地が共存できる新しいモデルを提案します
- 14. みんなの疑問に答えます
 - 市民からの質問に対する回答をまとめました
- 15. 今、私たちにできること
 - 市民一人ひとりができるアクションを紹介します
- 🔍 裏表紙 - お問い合わせ・情報発信
 - 連絡先情報やウェブサイトへのリンクを掲載します

はじめに - 私たちの想い

日野市環境基本条例が制定されて30年。市民による直接請求で作られた条例に基づき、データセンター建設について、市民が申し立てをしています。

私たちはデータセンターを否定するのではなく、住宅地での巨大施設建設について、皆さんと一緒に考えたいのです。

○日野市環境基本条例

平成7年10月5日

条例第18号

前文

私たちは、豊かな自然の恵みを受けて、生命の糧を与えられてきた。現代社会において、私たちは、大量生産・大量消費の社会システムの中で、物質的に豊かで便利な暮らしを享受する一方、自然環境の消失や、資源とエネルギーの限りない消費と多量の廃棄を生み出してきた。このような生産と生活の在り方は、地球規模での環境破壊をもたらしている。

日野市民は、野生生物が棲み、水を育む森林、暮らしに潤いをもたらす川、農地や崖線の緑などの自然や、それらによって培われた歴史的・文化的環境を祖先から受け継いできた。

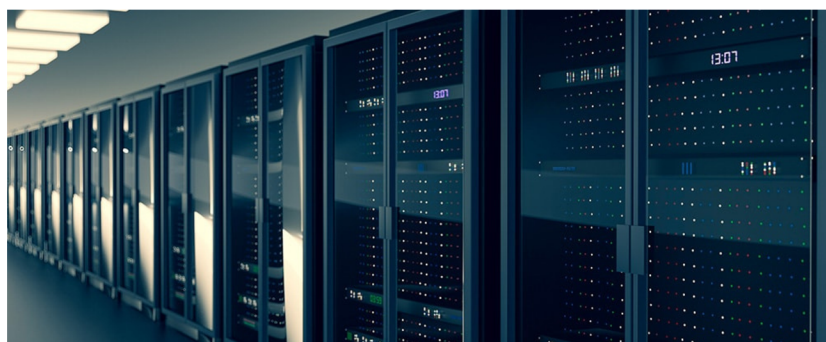
このような環境を私たちの世代限りで終わらせることなく、次の世代に引き継いでいかなければならない。

私たちは、これまでの生産と生活を見直し、自然を育み、環境保全型のまちを創り出すとともに、持続可能な社会への展望を見いだすべきときにきている。

このような認識の下に、私たちは、日野市、日野市民及び事業者の責務と役割を明らかにし、良好で快適な環境を確保するとともに、環境への負荷の少ない日野市を創りあげていくために、この条例を制定する。

データセンターってなに？

データセンターとは、サーバーやネットワーク機器（写真）を設置する特別な建物です。現在の情報化社会では電気・ガス・水道と同様に必要不可欠な設備となっています。



(NTTPCコミュニケーションズのHPより)



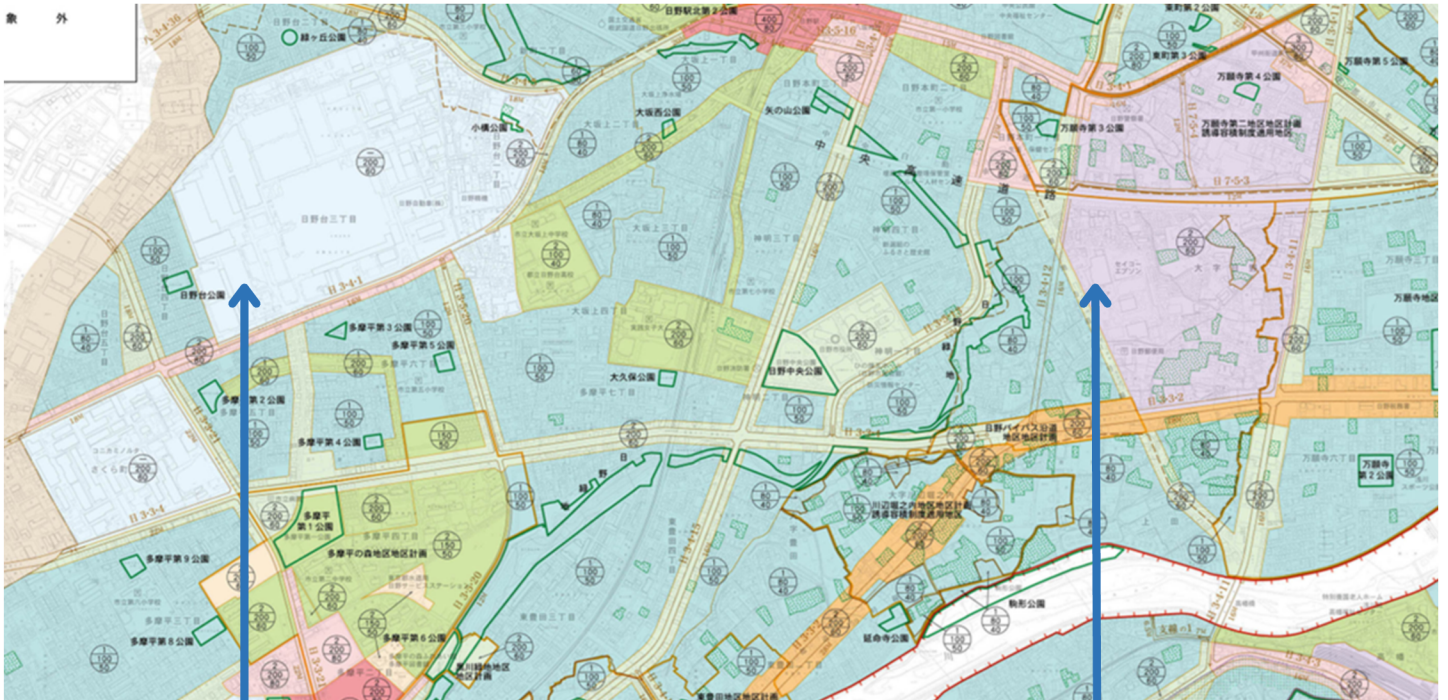
(日本データセンター協会HPより)

スマホ検索，AI，Amazon，Facebook，Instagram，LINE，NETFLIX，YouTube，Xなど、私たちが毎日使うサービスの多くがデータセンター(DC)に支えられています。

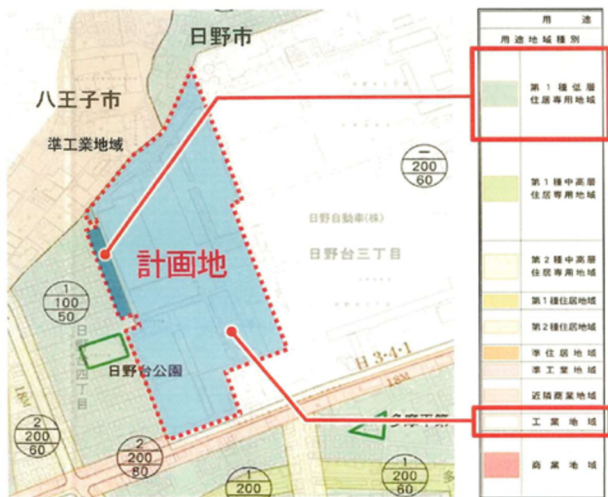


データセンターの建設予定地はどこ？

日野市では、日野自動車跡地とエプソン跡地に
巨大データセンターの建設が予定されています。



計画地概要



(仮称)日野市日野台3丁目計画

日野台DC（日野自動車跡地）

配置図



日野DC（エプソン跡地）

2つのデータセンターの大きさは？

日野自動車の跡地に巨大データセンター3棟が建設予定です。その内の2棟は、高さ72m、横150m、縦幅91m、延面積は、143,600㎡の予定です。この施設は住宅地に隣接し、24階建ビルの高さになります。

仮称	日野台DC	日野DC
以前の土地利用	工場（日野自動車）	工場（エプソン）
開発事業者	三井不動産	LJDC Rebound 特定目的会社
高さ	72m	29m
建設面積(㎡)	36,300	125,624
延床面積(㎡)	143,600	33,350
受電容量(MW)	不明（予測200）	50
消費電力量(MW)	不明（予測202）	46.9
設計・施工	鹿島建設	日建設計
用途地域	工業地域 第一種低層住専に隣接	準工業地域 第一種低層住専に隣接
着工予定	2026年11月	2028年2月
完成予定	2031年2月	2030年6月

エプソンの跡地には、高さ29m、延面積33,350㎡のデータセンター1棟が建設予定です。

排熱による気温への影響は？

排熱の影響で日野台2丁目、4丁目、多摩平5丁目では+2～3℃、日野五小では+1.9℃、日野市立病院では+1.3℃の気温上昇が予想されます。（近隣住民の試算）



2025年の国内平均気温は、例年より2.4℃上昇しました。

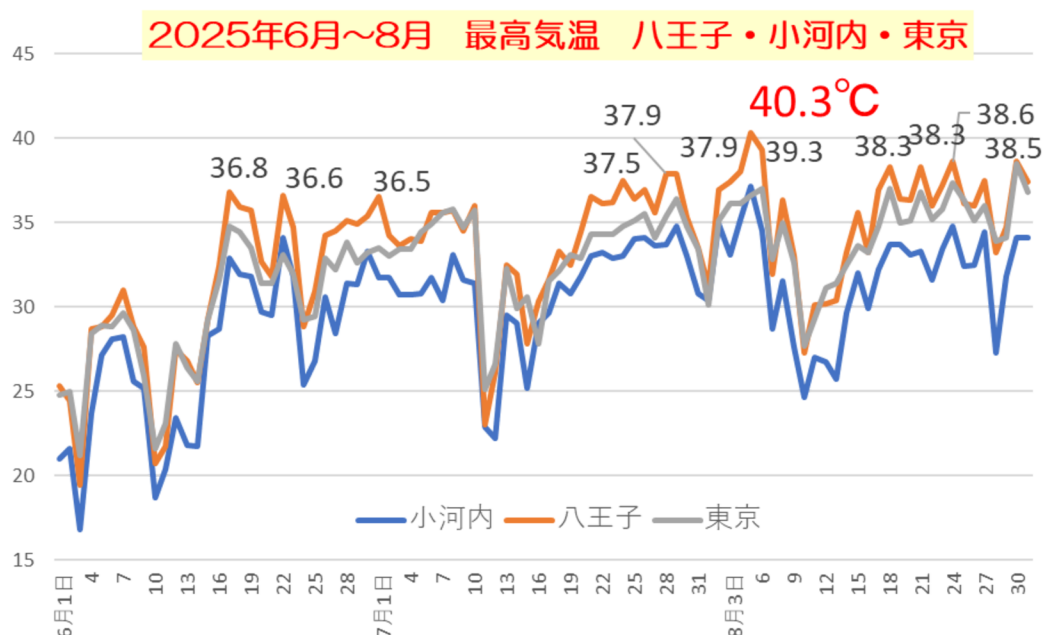
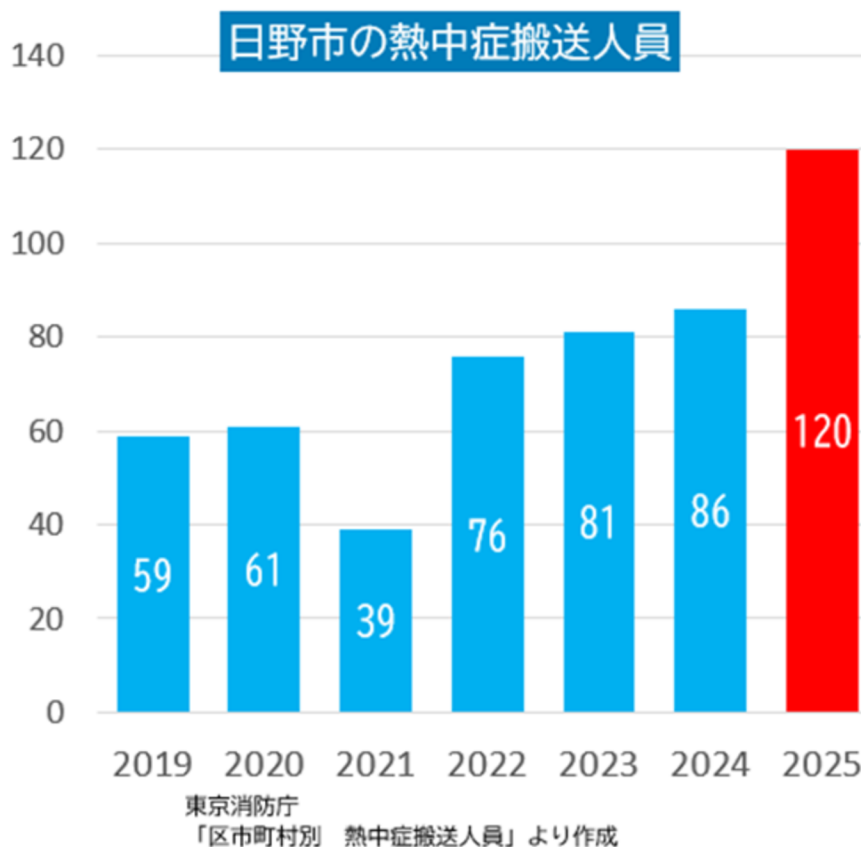
（気象庁資料：2025年は速報値）

熱中症リスクが高まる暑さ指数31を超える日が増える可能性があります。

暑さ指数は、①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境
③気温の3つを取り入れた指標です。

日野市の熱中症搬送人員は？

気候変動が進み、暑い日が増え、熱中症で運ばれる人が年々増加。データセンターの排熱で、さらに暑くなる？



データセンターの電気と水の使用量は？

データセンターは大量の電気と水を使用し、冷却に使用された水は蒸気として大気に放出されます。

電力の消費で大量のCO₂が排出されます。

AIに5回質問するとペットボトル1本分の水500mlが冷却目的で使用されます。（UCR: Shaolei Ren氏の研究から）

日野市の工場・指定作業場の総地下揚水量 3,948m³/日
日野台データセンター（一社）の予想地下揚水量 7,000m³/日
約1.8倍

令和5年都内の地下水揚水の実態 東京都 令和7年3月の数値をもとに、伊瀬洋昭氏が算出

3つのデータセンターの予測CO₂排出量

昭島DCと延面積当たりの消費電力、CO₂排出量が同じと仮定して算出

	昭島DC	日野台DC	日野DC
延床面積（m ² ）	292,040	143,600	33,350
年間消費電力(GWh)	3,650	1,785	415
CO ₂ 排出量（千トン）	1,775	873	203
PUE効率	1.4	1.4	1.4

※日野台DC（日野自動車跡地データセンター）
日野DC（エプソン跡地データセンター）

「GLP昭島プロジェクト環境影響評価書」に記載の数値を用いて伊瀬洋昭氏が算出

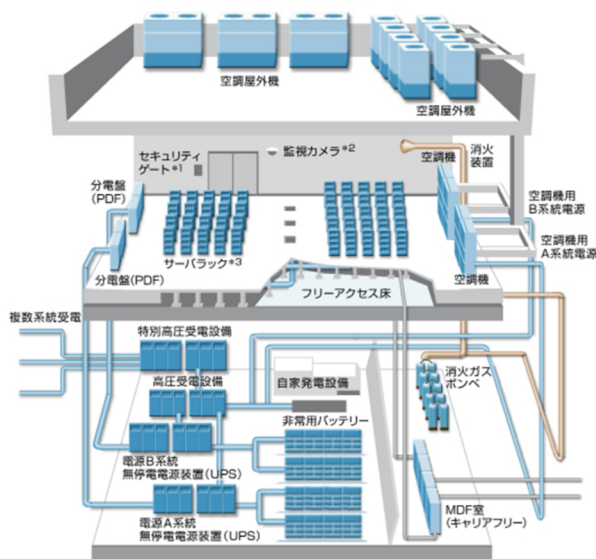
サーバーの冷却方法は？

発熱するサーバーを冷やす3種類の方法

①空冷→②水冷(液冷)⇒③液浸

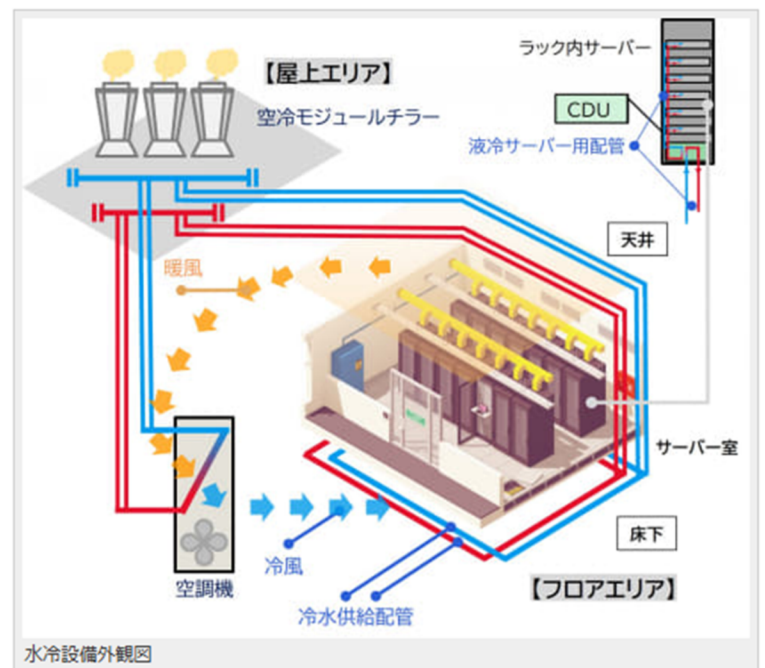
冷却効果 低

空冷



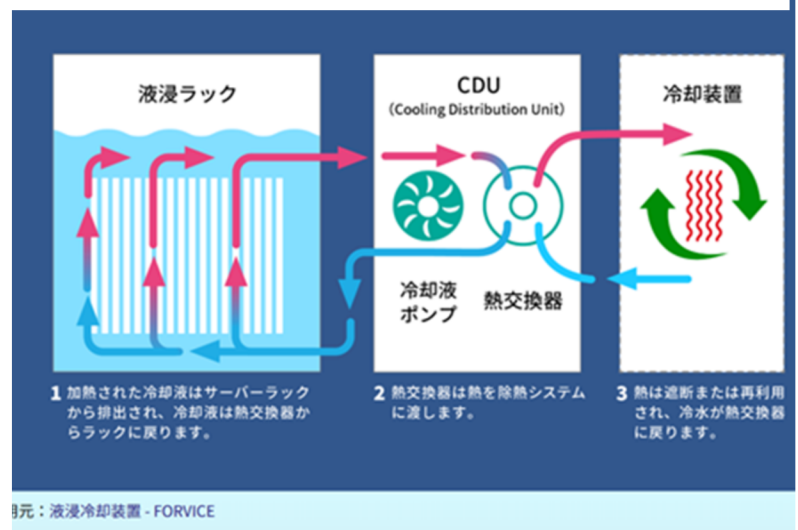
冷却効果 高

水冷



液浸

GPUの性能向上で10kW/h→600kW/hとサーバーラックの消費電力が激増します。
GPUは並列処理に特化したプロセッサです。



電力供給と建設スケジュールは？

データセンターへの電力供給の為、旭が丘から高倉経由で日野台まで地下を通る最大直径2.4mのトンネルが建設中です。電線敷設の為に深さ8mの立坑が9箇所設置され、昼夜の道路工事による交通規制や騒音が予想されます。相模原の工事では、下水道管の損傷事故が発生しました。



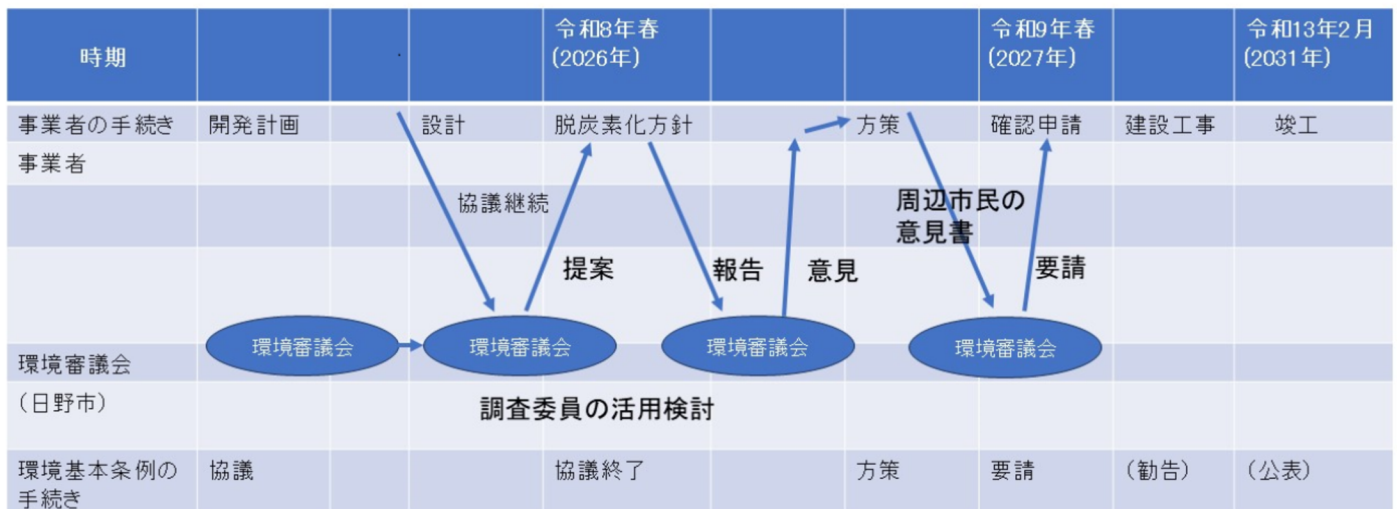
旭が丘の始点鉄塔



都立大前の工事



今後のスケジュール：日野市ホームページより作成



近隣市のデータセンターは？

**データセンターの排熱による環境影響を軽減し
地域の冷暖房や給湯に排熱が利用されています**



供給開始年月
供給延床面積

平成4年（1992年）4月
約234,000m²

21世紀型の新しいまちづくりとして計画され、大手金融機関や通信会社など高い信頼性を必要とするコミュニティで熱供給を行っています。
熱源機の排熱利用や蓄熱槽の活用で省エネを実現しています。



利用した利用可能エネルギーの種類、期間及び実績
2021年4月1日から 2022年3月31日まで

ビル排熱 利用量 13839.00GJ

<https://www7.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/yukoriyou/dhc/detail/R0312021.html>

わたしたちの未来への提案

地域住民と環境に調和するデータセンター計画 に向けて

日野市・市民・事業者 “三方よし” の 廃熱を活かす代替案

サーバー冷却方式の変更による効果

	現在の開発事業計画	代替案
	地域隔絶型	地域交流型
サーバー冷却方式	空冷 周辺地域上空へ大量のエネルギーを捨てる	水冷(液冷)・液浸 エネルギー回収・利用が可能となる
廃熱	利用 不可	廃熱利用 可能
エネルギー効率 (PUE)	1.7~1.4 (1.4未満は困難)	1.1~1.3
改正省エネ法	2029年以降 対応困難	2029年以降 対応可能
排熱	大量排熱・多湿 熱中症リスク増加	排熱抑制 熱中症リスク低減
エネルギー回収	不可	バイナリー発電※可能性
騒音・低周波	低減しにくい	低減しやすい
地下化建物高さ	地下化しにくい 建築物高さ72m	地下化しやすい 一部地下化により25m
テナント入居	将来入居テナント減	将来入居テナント増
固定資産税等	減収の可能性	増収が期待できる
廃熱供給収益	なし	大いに期待できる
地域振興・福祉	雇用は期待できない 周辺住民と隔絶 (秘匿性を過度に強調)	廃熱利用で地域振興 地域雇用の創出 市民福祉・教育・交流

廃熱供給

地域冷暖房・給湯

地産地消

地域交流ゾーン



※バイナリー発電：2種類の熱サイクルを利用して発電する方式。排熱などの熱源で、水よりも沸点の低い媒体を加熱・蒸発させ、その蒸気でタービンを回して発電。

※200MWの廃熱は8万戸への給湯をまかなえる(2027年度東京電力実用化予定)

(第2回環境審議会の委員提出資料)

【冷却方式の変更】

空冷から水冷・液浸へ変えることで、排熱抑制、熱中症リスクの減少、騒音の減少、建物の縮小が期待できます。

【廃熱活用】

回収したエネルギーで室内プール、データせんとう（銭湯）、足湯、スポーツジム、リハビリ施設、農業ハウス利用などが考えられます。

みんなの疑問に答えます

Q1: 税込増、雇用増などメリットもあるのでは？

A: 固定資産税は多少の税込増が期待されますが、サーバー等償却資産については、自己申告の為、正しい課税が難しいと言われています。法人税の税込増はわずかです。雇用に関しては、データセンターで働く人は少なく、職員は専門職が少しだけなので、あまり期待はできません。

緑地帯や公園の創設で、何もない現在よりも少し、緑が増える可能性が有ります。

Q2: 法的に建設を止められないの？

A: 現在のまちづくり条例では、市長が指導基準に適合していると認めてしまうと、建設を中止させることは困難です。しかし環境基本条例第8条により、市民は環境保全に関する必要な措置を市長に申立て、環境審議会で審議させることはできます。

Q3: データセンターのテナント業者名は？

A: 公開されていません。米国のIT企業だと推測されます。

わたしたちにできること



- ①勉強会・説明会への参加
- ②データセンターのことを家族・友人・隣人と話す
- ③SNS等で情報を共有する
- ④署名に協力する
- ⑤市議会議員に意見を伝える

**一人ひとりの小さな行動が
私たちの街の未来を変えます**

お問い合わせ先・情報発信

【発行年月日】 2025年11月11日

【発行元】 DCCデータセンター検討会

【連絡先】 ^{いながき}稲増 ^{ただし}正（事務担当）
042-585-4441

【ウェブサイト QRコード】



<https://sites.google.com/view/dcchino?usp=sharing>

この冊子は市民の皆様のご寄付で制作されました。
お読みいただき、ありがとうございました。

DCC データセンター検討会